

八頭町アートケアリング YAZUCHO ART CARING

報告展示

2027年2月20日(土)―3月14日(日)

今年の招聘アーティストの二組、田村尚子氏と宮田明日鹿氏が、
八頭町(新興寺)の地区に滞在し、地域住民と、交流・制作を行います。

2026年10月―2027年3月の期間中、それぞれ21日間滞在

八頭町芸術文化交流プラザ・あーとふる八頭

主催 | 八頭町教育委員会

八頭町アーティスト・イン・レジデンス事業

企画 | 労働者協同組合 Barrier House Project YAZU

第三回となる八頭町アートケアリングでは、田村尚子と宮田明日鹿による滞在プログラムを実施します。本事業の特色である、町が受け皿となってゲストと生活を共にするアーティスト・イン・レジデンスとして、二人は地域の暮らしの中に身を置きながら滞在制作を行います。

今年度は「手仕事」にかかわるプログラムです。鳥取は民藝の歴史とも深い関わりを持ち、八頭町においても、農業をはじめ、用の美や職人技術の文化が地域の暮らしの中に根付いてきました。自動化が進む現代において、かつて暮らしの中にあった手仕事の多くは機械に置き換えられ、その技術に触れる機会も限られつつあります。一方で、時間をかけて手を動かし、ものをつくる営みには、地域ならではの生活や文化のかたちをあらためて見つめ直す契機があります。

手を動かす営みを、ケアとの関係から捉え直すことも、本事業が掲げるアートとケアを考える一つの視点です。芸術を仕事から切り離された余暇としてのみ捉えるのではなく、生活の中にある労働や仕事そのものに芸術との接点を見出すことも、八頭町アートケアリングが大切にしている視点です。ウィリアム・モリスらによるアーツ・アンド・クラフツ

運動が生活と芸術の結びつきを問い直したように、手仕事を通して生活と芸術の関係を考えることは、現代においても重要な視点をもたらします。また、裁縫や手芸など、地域の暮らしの中で女性たちが担ってきた手仕事に目を向けることは、これまで見えにくかった労働やケアの営みを捉え直すことにもつながります。

近年「旅する茶会」を手がける田村氏は、八頭町で受け継がれてきた技術をもつ職人との茶道具の協働を中心に、木工、染色、竹細工などの技術に触れながら滞在制作を行います。宮田氏は、かつて縫製工場があった八頭町を舞台に、地域住民とともに「手芸部」を立ち上げ、手芸を通して地域の暮らしや歴史に受け継がれてきた記憶や技術をたどります。

これまで本事業では、アーティストが地域の日常に身を置き、住民との生活や交流を通して制作を行う滞在のあり方を模索してきました。今年度はそこからさらに、町の職人や住民が受け継いできた手仕事に触れ、八頭町の「手の歴史」との結びつきを深めていきます。高齢化が進む中山間地域での滞在と交流を通して、アーティストと地域住民がともに、生活・労働・芸術・ケアの関係を考える機会となることを目指します。

参加アーティスト



田村尚子 Naoko Tamura

徳島生まれ、京都在住。同志社女子大学にて英文学、映画を専攻し卒業。茶道文化に携わる仕事をしたのち、国内外で舞台芸術家や哲学者・詩人と交流、文学的なアプローチとともに写真作品を制作、初個展「この世の外へならどこへでも」から無意識の素材としての「夢」をテーマに抽象写真を中心に映像インスタレーションなど国内外の展覧会で発表。写真集に仏のラ・ボルド精神科病院へ8年に亘り通い滞在の日々を写真と文でまとめた、シリーズケアをひらく『ソローニユの森』(医学書院2012)、『Thaumata/タウマタ』(タカ・イシイギャラリー Paris2015)等の国内外での個展・グループ展、写真集がある。ヴュッター公園を主宰。vutterkohlen.com/



Photo: Nagashima Yurie

宮田明日鹿 Asuka Miyata

愛知県生まれ、三重県在住、桑沢デザイン研究所卒業。改造した家庭用電子編み機などの技法で作品を制作しながら、手芸文化を通して様々なまちの人とコミュニティを形成するプロジェクトを各地で立上げている。2017年から継続している港まち手芸部の活動では、おしゃべりしながら手を動かし、様々な世代が学び合い、何気ない会話を交わすなかで、見過ごされてきた出来事や家のなかの事柄も社会と密接につながっていることを参加する人々が認識出来る場を社会実践しながら試みている。2019年から野菜をつくり、食べること、生ごみコンポストの土づくりを題材にした制作もしている。近年の主な展覧会等に「六本木クロッシング2025」(森美術館、東京)、「同伴分動態」(BUG、東京、2025年)、手芸部プロジェクトに、「港まち手芸部」(愛知、2017年～進行中)、「有松手芸部」(愛知、2022年)、「本町手芸部」(石川、2024年)などがある。

報告展示会場

八頭町芸術文化交流プラザ あーとふる八頭

〒680-0521 鳥取県八頭郡八頭町安井宿1346

開場時間: 午前10時から午後4時まで

(但し、祝日を除く月～水は休館)



八頭町芸術文化交流プラザ あーとふる八頭 TEL 0858-71-1061 FAX 0858-84-6006

労働者協同組合 Barrier House Project YAZU (バリアハウス プロジェクト ヤズ) は、鳥取県八頭郡八頭町を拠点とした、アーティストや建築家で構成された法人です。

将来的に芸術や福祉が感じられる地域の拠り所を里山につくるために、2024年3月に設立されました。本アーティスト・イン・レジデンス事業は、八頭町の委託事業として、3回目となるプログラムです。

※アーティスト・イン・レジデンスとは、アーティストが一定期間ある地域に滞在して、地域での生活を通して芸術創造活動を行うこと。アーティストと地域社会の交流により地域の活性化を目指した活動である。

お問い合わせ

Email: osaki@barrier-house.com

(労働者協同組合Barrier House Project YAZU)